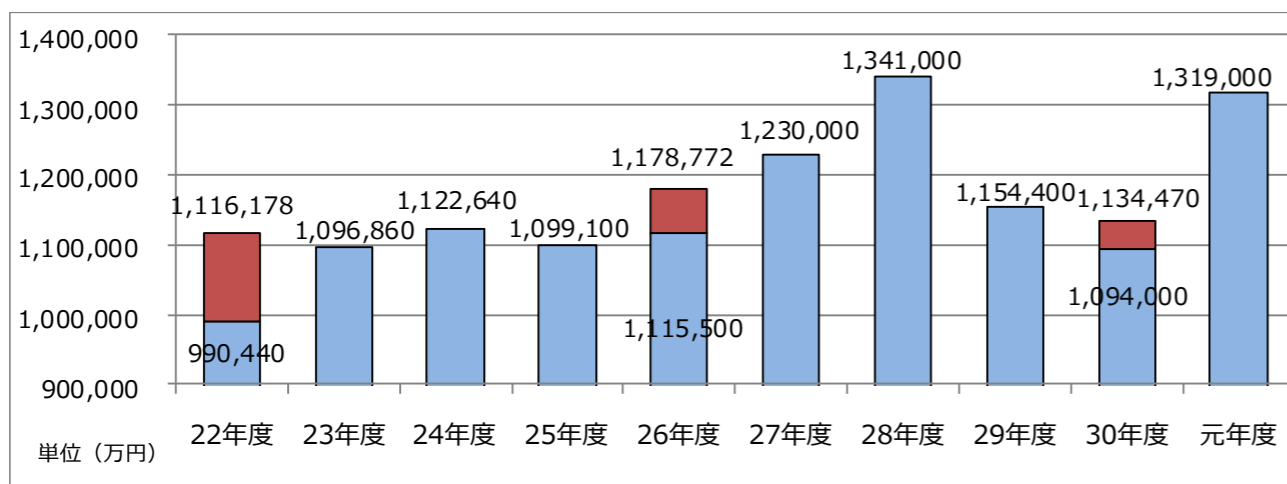


令和元年度 与謝野町の予算 「新たな時代、深化と挑戦で切り拓く」

■一般会計予算総額：131億9,000万円



令和元年度の一般会計当初予算額は131億9,000万円で前年度の6月補正後予算額と比較すると16.3%増となっています。大きく増額となった主な要因は、広域ごみ処理施設建設に伴う宮津与謝環境組合負担金の増によるものです。(平成30年度当初予算は、骨格予算であったため、6月補正後の肉付け予算額と比較しています。)

■特別会計・水道事業会計当初予算額

会計別	令和元年度当初	30年度6月補正後	増減率 (%)
宅地造成事業特別会計	7,931	7,931	0.0
下水道特別会計	168,550	169,370	▲0.5
農業集落排水特別会計	3,720	4,190	▲11.2
介護保険特別会計	272,910	270,078	1.0
土地取得特別会計	43	40	7.5
国民健康保険特別会計	249,600	250,330	▲0.3
後期高齢者医療特別会計	28,770	27,950	2.9
財産区特別会計	9,470	8,520	11.2
水道事業会計	121,320	134,104	▲9.5
特別会計・水道事業会計合計	862,314	872,513	▲1.2

■令和元年度予算のポイント

(子ども子育て環境の充実、観光拠点整備、災害復旧関連事業を重点)

平成29年度決算では、合併以降初めて財政調整基金を2億円取り崩すなど、財政余力がなくなっている中で、普通交付税の段階的縮減や、人口減少等による税収の落ち込みもあり、極めて厳しい財政状況に陥っています。令和元年度一般会計当初予算は、経常経費を極力抑えつつ、厳しい中でも「子ども子育て環境の充実」や、「観光拠点整備」、「災害復旧関連事業」を重点施策として取り組みます。

■令和元年度予算主要事業

(1) 「子ども子育て環境の充実」及び「きめ細かな支援制度の整備」

取組み事項	予算額
病児保育施設の新設 (広域連携)	1,102万円
加悦地域こども園 (仮称) の施設整備 (実施設計)	4,188万円
加悦地域の3小学校の再編整備事業 (スクールバス購入、加悦小学校の校舍改修)	5,222万円
町内6小学校の普通教室等に空調設備整備 (30年度からの繰越)	4億2,578万円
加悦小学校・石川小学校のトイレの洋式化	4,062万円
寡婦 (夫) 控除のみなし適用	町独自の「寡婦 (夫) 控除」を適用し、使用料、負担金等を減免
かやこども園、のだがわこども園の開園	平成31年4月から与謝保育園・加悦保育園を再編し、「かやこども園」、市場保育所を「のだがわこども園」とする

(2) 「観光拠点整備」

取組み事項	予算額
旧加悦町役場庁舎保存活用改修工事	1億1,193万円
クアハウス岩滝の老朽化対策工事の他、健康増進施設としての機能充実の実施 (30年度からの繰越)	4億6,246万円

(3) 「災害復旧関連事業」

取組み事項	予算額
災害復旧事業 (30年度からの繰越)	1億6,621万円
災害復旧事業 (河川災害復旧事業)	1,184万円
農地等保全対策事業 (農業用ため池廃止に向けた測量調査)	2,000万円
河川改修事業 (鞭谷川、ゾブ川、明石川の浸水対策)	1億250万円
防災・危機管理対応事業 (浸水想定ハザードマップの更新)	440万円

(4) 「ブランド戦略事業の推進」

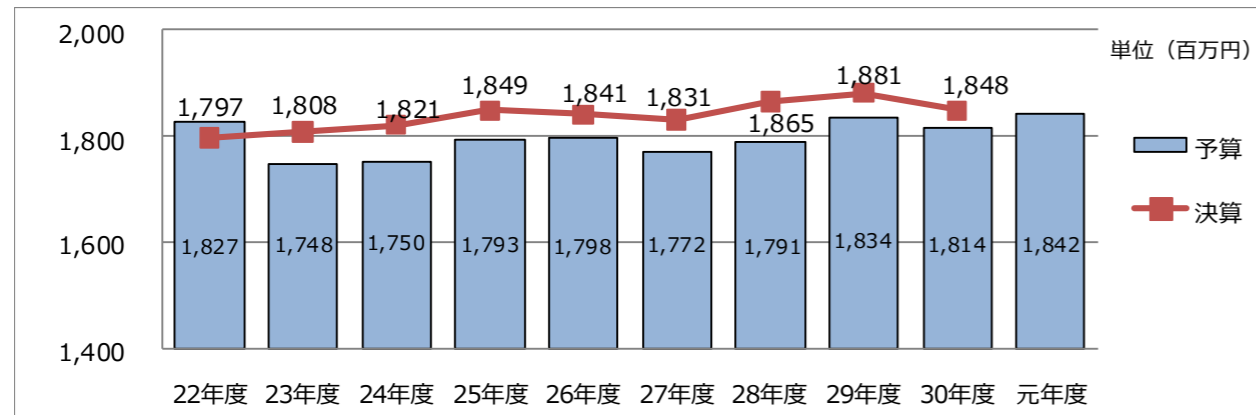
取組み事項	予算額
自然循環農業推進事業	1,003万円
特色ある農業推進事業	883万円
テキスタイル産地化支援事業	1,500万円
織物職人人材確保支援事業	490万円
織物業担い手育成事業	330万円
農商工連携・六次産業化推進事業	340万円
お試し移住体験事業	400万円
美心与謝野魅力発信事業	400万円
よさのみらい大学事業	500万円

■ 財政関連資料編

(1) 町税の状況 (町税総額 18億4,162万円 対前年度: 2,741万円増)

税目	元年度予算	30年度予算	増減率 (%)
町民税	8億3,200万円	8億2,907万円	0.4
固定資産税	7億9,360万円	7億9,247万円	0.1
軽自動車税	8,002万円	7,267万円	10.1
町たばこ税	1億3,600万円	1億2,000万円	13.3
合計	18億4,162万円	18億1,421万円	1.5

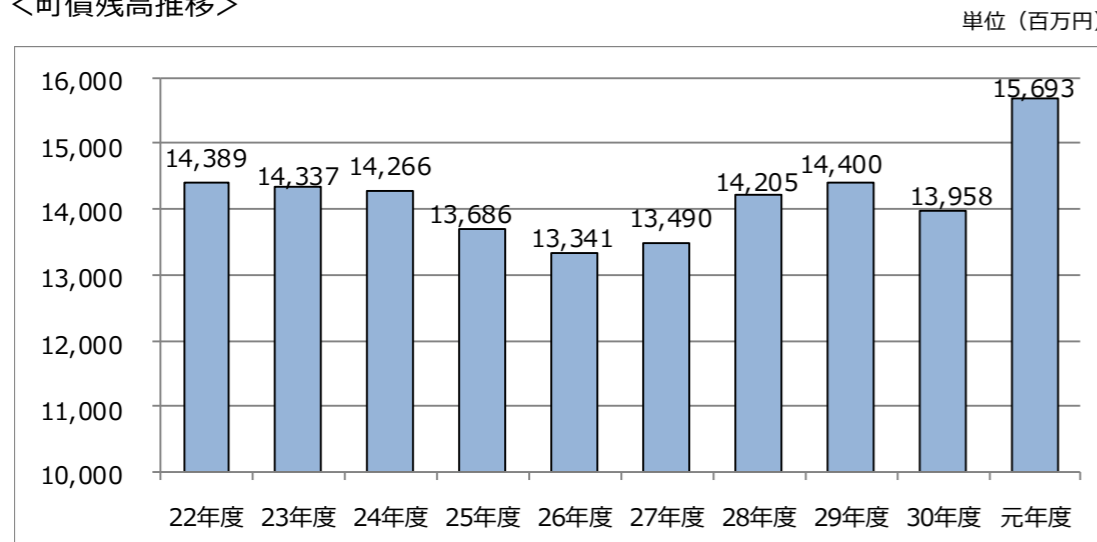
<町税の推移>



(2) 町債の状況 (一般会計)

令和元年度末町債残高見込み 156億9,313万円 (前年度比: 17億3,471万円増)

<町債残高推移>

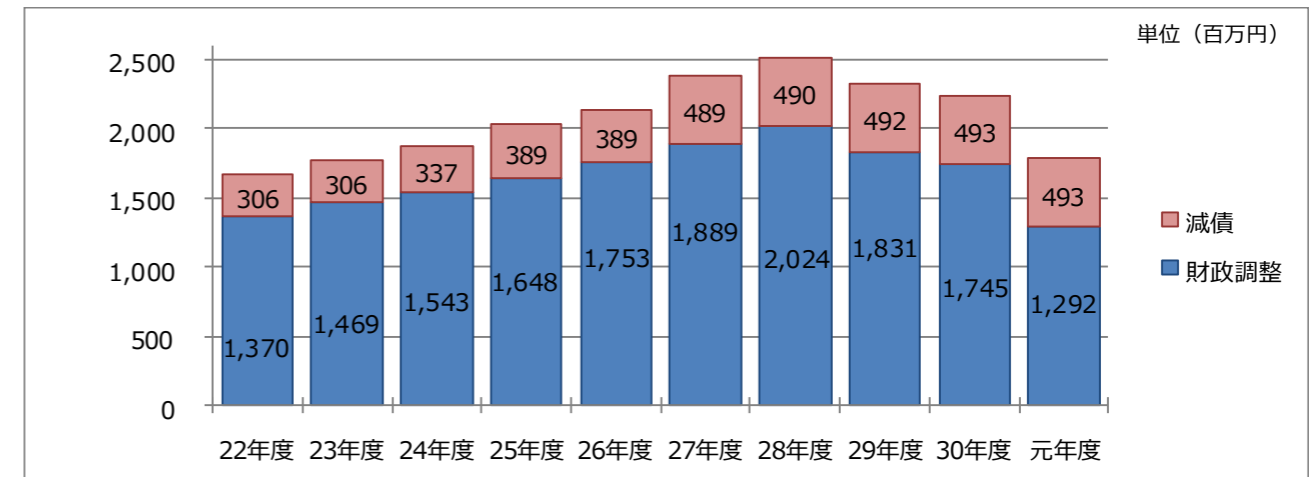


(3) 基金の状況 (令和元年度末基金残高見込み: 財政調整基金・減債基金)

財政調整基金: 12億9,179万円 (前年度比較: 4億5,308万円減 (▲26.0%))

減債基金: 4億9,345万円 (前年度比較: 35万円の増 (0.1%))

<基金残高推移>



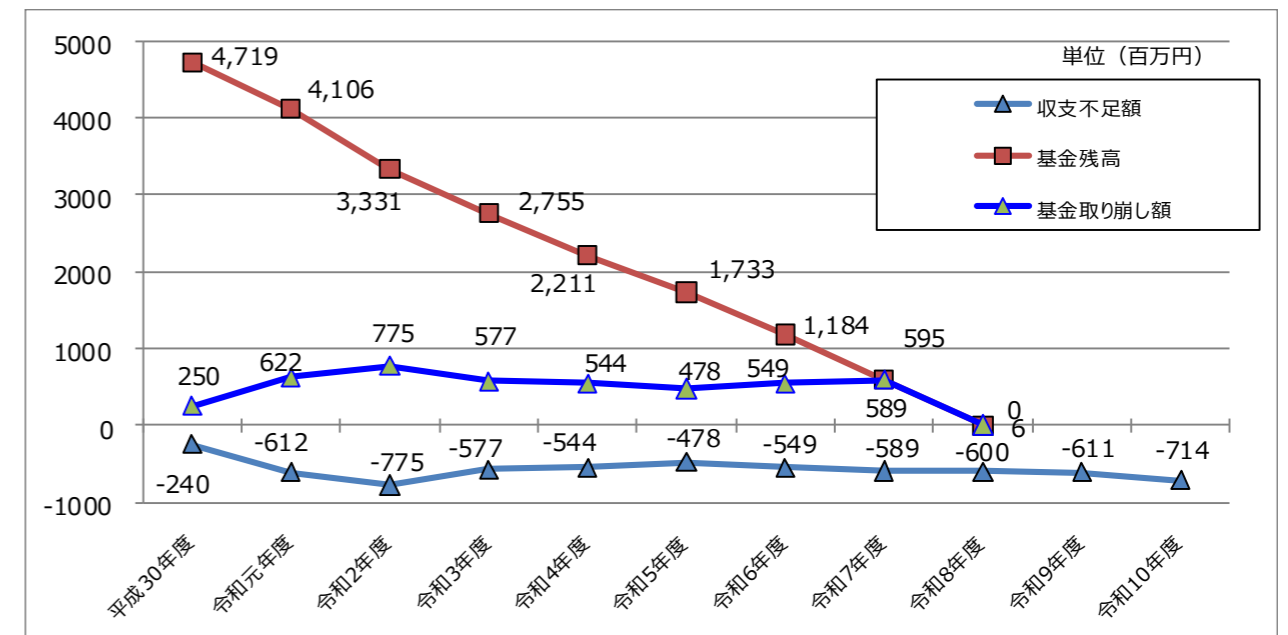
■ 与謝野町の財政見通し (平成31年3月作成)

下のグラフは、一般会計の平成30年度の決算見込み、令和元年度当初予算の数値を基に、今後10年間の財政見通しを算出したもので、一般会計の収支不足額と基金残高の推移、基金取り崩し額を示したものです。

平成29年度では合併以降初めて財政調整基金を取り崩した決算となりましたが、平成30年度につきましても収支不足が見込まれ基金で補填しなければならない決算見込みとなっています。

令和元年度以降につきましても現状の行政サービスを維持していくと、毎年度収支不足となることが見込まれ、その不足額を基金で補填すると令和8年度にはすべての基金が枯渇することになります。

そうならないためにも、下記の行財政経営マネジメントに取り組みます。



<行財政経営マネジメント>

- ① 第3次行政改革大綱の策定及び実行
- ② 事務事業評価による適正な事業執行
- ③ 公共施設等総合管理計画による公共施設の統合・集約化等の推進
- ④ 職員配置の適正化 (公共施設の統合・集約化による)
- ⑤ 公共料金等の受益者負担の見直し・適正化